

1. 対象設備の設置を予定する住所 **・該当項目の「□」を、黒く「■」塗りつぶしてください。**

申請者住所と同じ その他(下記に住所記載) ※ 該当項目に■印を記入

設置を予定する住所 (都道府県名より記入)	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>											
	<p>・申請者の住所と設備を設置する建物の住所が同じ場合は、「申請者住所と同じ」を黒く「■」塗りつぶして、この欄の記入は不要です。</p> <p>・申請者の住所と設備を設置する建物の住所が異なる場合は、この欄に記入してください。</p>											

2. 対象設備の設置を予定する建物の所有者 申請者を含む建物所有者全員を記載し、申請者以外の所有者がある場合は、その承諾書を添付してください。

建物所有者氏名	所有者1	廿	日	市	太	郎														
	所有者2	廿	日	市	花	子														
	所有者3																			
	所有者4																			

・設置を予定する建物の所有者名を記入してください。
 ・共同名義者がいる場合は、申請者を含め全員の氏名を記入してください。
 ・設置を予定する建物の所有者が、申請者と異なる場合は、所有者の氏名を記入してください。
 ・設置を予定する建物に申請者以外の所有者がいる場合は、所有者全員の「承諾書」が必要となります。
 ・姓と名の間は1マス空けてください。
 ・枠線内に左詰めで、濁点を含む文字は1マスで記入してください。

3. 電灯契約者 必ず申請者と同一であること。 **・姓と名の間は1マス空けてください。・枠線内に左詰めで、濁点を含む文字は1マスで記入してください。**

電灯契約者名	廿	日	市	太	郎															
--------	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

4. 工事着工予定日又は建物の引渡予定日 平成 2 3 年 0 5 月 1 1 日

・申請日から起算して14日以降で設定してください。※土日・祝日を除きます。

5. 建物区分(該当項目に「■」印を記入) 新築住宅 既存住宅 設備付き建売住宅

6. 太陽光発電システムの設置方法(該当項目に「■」印を記入) 建材一体型 架台設置型

7. 太陽電池の最大出力(注) **・該当項目の「□」を、黒く「■」塗りつぶしてください。** 3 4 1 kW 小数点2桁未満は切捨て

8. 省エネルギー設備の設置区分(該当項目に「■」印を記入) **・「11.対象システム、4)太陽電池の最大出力」で計算した出力を記入してください。**

<input checked="" type="checkbox"/> 発光ダイオード(LED)照明器具	<input type="checkbox"/> 断熱材	<input type="checkbox"/> 複層ガラス	<input type="checkbox"/> 窓ガラス用熱遮断フィルム
<input type="checkbox"/> 潜熱回収型ガス給湯器(エコジョーズ)	<input type="checkbox"/> 自然冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)		

工事内容	玄関とトイレの照明器具をLED照明器具に交換	工事費(税込み)																		
												¥	3	0	0	0	0	0	円	

9. 補助金交付申請額(注4) **・省エネルギー設備の工事内容を記入してください。・工事費(税込み)を記入してください。**

7	0	0	0	0	0	円	補助金は定額
---	---	---	---	---	---	---	--------

10. 住宅ローン減税(新築)の適用を受ける予定の者は、全体契約額のうちローン金額を除いた 超えている 超えていない **」を記入)** 適用外

○住宅ローン減税を受ける方は、「全体契約額ー減税を受けようとするローン金額」で計算し、太陽光発電システムの契約額を超えているときは「超えている」に「■」を、太陽光発電システムの契約額を超えていないときは「超えていない」を黒く「■」塗りつぶしてください。なお、「超えていない」場合は、補助対象外となります。
○住宅ローン減税を受けていない方は、「適用外」を黒く「■」塗りつぶしてください。

・「5. 建物区分」で「既存住宅」を選択された方は、「適用外」を選択「■」してください。

関係する契約書の写しを添付してください。

(注4) 「9. 補助金交付申請額」は、交付要綱第5条の金額70,000円を記入してください。

11. 対象システムの概要

項 目		内 容																									
太陽電池モジュール	1) 太陽電池モジュールの型式名	①	A	B	C	—	9	8	1	5	5																
		②	A	B	D	—	9	8	0	7	8																
		③																									
		④																									
		⑤																									
		⑥																									
		⑦																									
		⑧																									
太陽電池モジュール	2) 製造者名(メーカー名) (株式会社、(株)等は記入しない)	●	△	□	電	工																					
	3) 太陽電池モジュールの 公称最大出力(注2)と使用枚数	<ul style="list-style-type: none"> ・型式名と同じ順番で記入してください。 ・右詰めで記入してください。 ・各太陽電池モジュールごとに、出力と枚数から出力の合計を算出してください。 	①	1	5	5	.	0	W×		2	0	枚	=	3	1	0	0	.	0	W						
			②		7	8	.	0	W×			4	枚	=		3	1	2	.	0	W						
			③				.		W×				枚	=								W					
			④				.		W×				枚	=								W					
			⑤				.		W×				枚	=								W					
			⑥				.		W×				枚	=								W					
4) 太陽電池の最大出力 (注3) (小数点2桁未満は切捨て)	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての太陽電池モジュールの出力の合計値を記入してください。 	⑦				.		W×				枚	=							W							
		⑧				.		W×				枚	=								W						
		合計							3	4	1	2	.	0	W	⇒					3	.	4	1	kW		
インバータ・保護装置	1) インバータ・保護装置 (パワーコンディショナ)の型式名 (同一の型式が2台以上ある場合は、 台数分の型式を記入してください。)	①	X	Y	Z	—	4	5	6	S																	
		②																									
		③																									
		④																									
インバータ・保護装置	2) 製造者名(メーカー名) (株式会社、(株)等は記入しない)	●	△	□	電	工																					
インバータ・保護装置	3) 定格出力	<ul style="list-style-type: none"> ・型式名と同じ順番で記入してください。 ・左詰めで記入してください。 ・太陽電池の最大出力ではありません。パワーコンディショナの定格出力です。 	①																			4	.	0	0	kW	
			②																					.			kW
			③																					.			kW
			④																					.			kW

(注1) 枠線内に左詰めで丁寧に楷書で記入してください。

(注2) 公称最大出力とは、日本工業規格に規定される太陽電池モジュールの公称最大出力をいう。

(注3) 太陽電池の最大出力とは、対象システムを構成する太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値。(小数点2桁未満は切捨て)

12. 補助対象経費内訳

補助対象経費 (注2)											
補助対象項目		金額欄							備考		
① 太陽電池モジュール				1	4	6	0	0	0	0	
② 付属機器小計				4	7	3	0	0	0		
付属機器内訳 (注4)	架台										
	インバータ・保護装置										
	接続箱										・付属機器内訳の記入は、任意です。
	直流側開閉器										
	交流側開閉器										
	余剰電力販売用電力量計										・配線、配線器具の購入及び据付費用、その他管理費等は「設置工事に係る費用」に含めてください。
③ 設置工事に係る費用(注5)				5	6	0	0	0	0		
設置工	安全対策費			1	5	0	0	0	0	特殊工事費控除上限金額計算式 30,000円× 3.41kW=102,300円	
特殊工事の控除金額は、実際にかかった金額と控除上限金額の低い方を採用する。 例) ・安全対策費は、控除上限金額の方が低いので102,300円を採用する。 ・幹線増強工事費は、実際にかかった金額の方が低いので90,000円を採用する。										特殊工事費控除上限金額計算式 50,000円× . kW=	
										特殊工事費控除上限金額計算式 30,000円× . kW=	
										特殊工事費控除上限金額計算式 10,000円× . kW=	
特	幹線増強工事費				9	0	0	0	0	特殊工事費控除上限金額計算式 100,000円	
④ 小計(消費税抜き)				2	4	9	3	0	0	①+②+③	
⑤ 特殊工事費控除金額				1	9	2	3	0	0	それぞれの特殊工事につき、実際にかかった金額と、控除上限金額の低い値の合計を記入してください。	
⑥ 控除後の小計(消費税抜き)				2	3	0	0	7	0	④-(・特殊工事がない場合には、「④小計」と同じ金額を記入してください。)	
⑦ 消費税				1	2	4	6	5	0	④×消費税率	
合計金額				2	6	1	7	6	5	④+⑦	

1kW当たりの金額(注7)			6	7	4	6	9	3	⑥÷太陽電池の最大出力(kW)
契約電力会社名	中国電力							・1kWあたりの金額=(⑥で得た小計)÷(「対象システムの概要」記入欄の「4)太陽電池の最大出力」で計算した出力(注7))	

- (注1) 枠線内に丁寧に楷書で記入してください。
 (注2) 補助対象経費は、交付要綱別表第2に示す範囲についてのみ記入してください。
 (注3) 金額の記入は全て右詰で記入してください。(金額欄に不要な記号は記入しないでください。)
 (注4) 「付属機器内訳」の記入は任意とします。内訳に記入しない場合は「付属機器小計」のみ記入してください。
 (注5) 配線、配線器具の購入及び据付に係る経費は、「設置工事に係る費用」に含めて記入してください。
 (注6) 特殊工事は実際に掛かる金額を記入してください。
 (注7) 1kWあたりの金額=(⑥で得た小計)÷(「対象システムの概要」欄の「4)太陽電池の最大出力」で計算した出力)*小数点以下切り上げ